

## 「雪上の会談」



### 枯葉が作り出す動物たちの姿

雪国育ちのためか、雪が降ると心が浮き立ってじっとしてられず、近くの丘へ出かけます。そこは、クヌギやコナラなどが茂る深い雑木林。雪のなか、一番乗りだと思っていたら、誰かの足跡を見つけてがっかり。数日してまた訪れてみると、雪の上には動物のあしあとが残り、風に吹かれた枯葉や木の実が落ちています。ふとした拍子に、それらが動物の姿に見えてきて…そんな瞬間を絵にしてみました。

ひっそりと木の幹に擬態する蛾、何かが入り出した跡のある木の根元、雪の丘は小さな発見にあふれています。何かおもしろいことはないかな？ そんな期待を抱きながら散歩する冬の日です。

### Profile



男鹿和雄  
Kazuo Oga

1952年、秋田県生まれ。アニメーション美術、挿し絵画家。上京後、1972年に小林プロダクションに入社。アニメーションの背景美術の世界に入る。テレビアニメ「樫の木モック」ではじめて背景画を手がけ、以後「ど根性ガエル」、「侍ジャイアンツ」、「あしたのジョー2」、「幻獣都市」など数多くのテレビシリーズ、劇場映画に携わる。1988年、「となりのトトロ」でスタジオジブリ作品の美術監督として初参加。「魔女の宅急便」「おもひでぼろぼろ」「平成狸合戦ぽんぽこ」「耳をすませば」「もののけ姫」「ゲド戦記」などほとんどの作品で美術監督・背景を手がけている。著書・作品に『男鹿和雄画集』、『男鹿和雄画集Ⅱ』、詩画集『第二楽章 ヒロシマの風』（吉永小百合編）、「ねずてん」（山本素石原作）、「種山ヶ原の夜」（宮沢賢治原作）など多数。現在はフリーとして、アニメーション作品の背景はもちろん、絵本、挿絵、エッセイなど幅広いフィールドで活躍している。各地で大好評の「ジブリの絵職人 男鹿和雄展」の巡回展は、松山での開催を終えて、次は長崎での開催が予定されています（4/4～6/14 詳しくは<http://www.ntv.co.jp/oga/jyunkaiten/>）。お楽しみに！

### 編集後記

2009年、最初のFINDをお届けします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。私事ですが、ここ数年お正月には、「新年走行会」と称して知人らと自転車ツーリングをしています。往復約40km、初詣をしてお蕎麦を食べて帰るという短いツーリングですが、道中には急坂もあり、運動不足の体にはそれなりに厳しいコースです。今年の走行会は晴天ながら、凍りつきそうな向かい風。それでも「エコだし、メタボ対策にもなる」と念しながらペダルを回せば、なにやら達成感がありました。今年は定期的な走行を心がけ、たるんだ体に喝を入れていきたいと思います。(H.K)

FIND 2009年2月発行 Vol.27 No.1 通巻129号

発行

富士通マイクロエレクトロニクス株式会社

企画編集

FIND編集委員会

お問い合わせ

富士通マイクロエレクトロニクス株式会社

FIND編集事務局

〒163-0722

東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル

TEL 03-5322-3445 FAX 03-5322-3387

印刷

株式会社エデュプレス